

議案第 7 号

杉並区乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正
する条例

上記の議案を提出する。

令和 8 年 2 月 1 2 日

提出者 杉並区長 岸 本 聡 子

杉並区乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正
する条例

杉並区乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例（令和 7 年杉並区
条例第 7 号）の一部を次のように改正する。

第 1 0 条、第 1 1 条第 1 項及び第 1 4 条中「乳児等通園支援事業者」を「乳児等
通園支援事業所」に改める。

第 1 7 条第 6 号中「乳児及び幼児の区分ごとの」を削り、同条第 7 号中「並び
に」を「その他の」に改める。

第 1 9 条第 1 項中「乳児等通園支援事業者」を「乳児等通園支援事業所」に改め
る。

第 2 3 条第 3 項中「係る利用定員」の次に「（子ども・子育て支援法（平成 2 4
年法律第 6 5 号）第 2 7 条第 1 項又は第 2 9 条第 1 項の確認において定める利用定
員をいう。）」を加える。

第 2 7 条中「及びその職員」を削る。

附 則

この条例は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

（提案理由）

乳児等通園支援事業の運営規程に定める事項を改める等の必要がある。

杉並区乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正
する条例新旧対照表

新 条 例	旧 条 例
(職員の一般的要件)	(職員の一般的要件)
第 1 0 条 <u>乳児等通園支援事業所</u> の職員 は、健全な心身を有し、豊かな人間性 と倫理観を備え、児童福祉事業に熱意 のある者であつて、できる限り児童福 祉事業の理論及び実際について訓練を 受けたものでなければならない。	第 1 0 条 <u>乳児等通園支援事業者</u> の職員 は、健全な心身を有し、豊かな人間性 と倫理観を備え、児童福祉事業に熱意 のある者であつて、できる限り児童福 祉事業の理論及び実際について訓練を 受けたものでなければならない。
(職員の知識及び技能の向上等)	(職員の知識及び技能の向上等)
第 1 1 条 <u>乳児等通園支援事業所</u> の職員 は、常に自己研さんに励み、乳児等通 園支援事業の目的を達成するために必 要な知識及び技能の修得、維持及び向 上に努めなければならない。	第 1 1 条 <u>乳児等通園支援事業者</u> の職員 は、常に自己研さんに励み、乳児等通 園支援事業の目的を達成するために必 要な知識及び技能の修得、維持及び向 上に努めなければならない。
2 略	2 略
(虐待等の禁止)	(虐待等の禁止)
第 1 4 条 <u>乳児等通園支援事業所</u> の職員 は、利用乳幼児に対し、法第 3 3 条の 1 0 第 1 項各号に掲げる行為その他当 該利用乳幼児の心身に有害な影響を与 える行為をしてはならない。	第 1 4 条 <u>乳児等通園支援事業者</u> の職員 は、利用乳幼児に対し、法第 3 3 条の 1 0 第 1 項各号に掲げる行為その他当 該利用乳幼児の心身に有害な影響を与 える行為をしてはならない。
(運営規程)	(運営規程)
第 1 7 条 乳児等通園支援事業者は、乳 児等通園支援事業所ごとに、次に掲げ る乳児等通園支援事業の運営について	第 1 7 条 乳児等通園支援事業者は、乳 児等通園支援事業所ごとに、次に掲げ る乳児等通園支援事業の運営について

<p>の重要事項に関する規程を定めておか なければならない。</p> <p>(1)～(5) 略</p> <p>(6) _____利用 定員</p> <p>(7) 乳児等通園支援事業の利用の開 始及び終了に関する事項<u>その他の利</u> 用にあたっての留意事項</p> <p>(8)～(11) 略</p> <p>(秘密保持等)</p> <p>第19条 <u>乳児等通園支援事業所の職員</u> は、正当な理由がなく、その業務上知 り得た利用乳幼児又はその家族の秘密 を漏らしてはならない。</p> <p>2 略</p> <p>(乳児等通園支援事業の区分)</p> <p>第23条 略</p> <p>2 略</p> <p>3 余裕活用型乳児等通園支援事業と は、保育所若しくは認定こども園又は 家庭的保育事業等（居宅訪問型保育事 業を除く。第26条第4号において同 じ。）を行う事業所において、当該施 設又は事業を利用する児童の数（以下 この項において「利用児童数」とい う。）が当該施設又は当該事業に係る 利用定員<u>（子ども・子育て支援法（平 成24年法律第65号）第27条第1 項又は第29条第1項の確認において</u></p>	<p>の重要事項に関する規程を定めておか なければならない。</p> <p>(1)～(5) 略</p> <p>(6) <u>乳児及び幼児の区分ごとの利用</u> 定員</p> <p>(7) 乳児等通園支援事業の利用の開 始及び終了に関する事項<u>並びに</u>利 用にあたっての留意事項</p> <p>(8)～(11) 略</p> <p>(秘密保持等)</p> <p>第19条 <u>乳児等通園支援事業者の職員</u> は、正当な理由がなく、その業務上知 り得た利用乳幼児又はその家族の秘密 を漏らしてはならない。</p> <p>2 略</p> <p>(乳児等通園支援事業の区分)</p> <p>第23条 略</p> <p>2 略</p> <p>3 余裕活用型乳児等通園支援事業と は、保育所若しくは認定こども園又は 家庭的保育事業等（居宅訪問型保育事 業を除く。第26条第4号において同 じ。）を行う事業所において、当該施 設又は事業を利用する児童の数（以下 この項において「利用児童数」とい う。）が当該施設又は当該事業に係る 利用定員_____</p>
--	--

定める利用定員をいう。)の総数に満たない場合に、当該利用定員の総数から当該利用児童数を減じた数以下の数の乳幼児を対象として行う乳児等通園支援事業をいう。

(電磁的記録)

第27条 乳児等通園支援事業者_____は、記録、作成、保存その他これらに類するもののうち、この条例の規定において書面等（書面、書類、文書、謄本、抄本、正本、副本、複本その他文字、図形等人の知覚によって認識することができる情報が記載された紙その他の有体物をいう。以下この条において同じ。）で行うことが規定されている又は想定されるものについては、当該書面等に代えて、当該書面等に係る電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。）により行うことができる。

_____の総数に満たない場合に、当該利用定員の総数から当該利用児童数を減じた数以下の数の乳幼児を対象として行う乳児等通園支援事業をいう。

(電磁的記録)

第27条 乳児等通園支援事業者及びその職員は、記録、作成、保存その他これらに類するもののうち、この条例の規定において書面等（書面、書類、文書、謄本、抄本、正本、副本、複本その他文字、図形等人の知覚によって認識することができる情報が記載された紙その他の有体物をいう。以下この条において同じ。）で行うことが規定されている又は想定されるものについては、当該書面等に代えて、当該書面等に係る電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。）により行うことができる。